

かしま 議会だより

第124号

令和7年12月定例会号

令和8年2月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



鹿島市議会による主権者教育出前講座（西部中学校）

12月定例会	P2～P3
計報	P3
議案審議	P4～P5
一般質問(11名)	P5～P10
総務建設環境委員会行政視察報告	P11
文教厚生産業委員会行政視察報告	P12
地域交通まちづくり特別委員会行政視察報告	P13
市民と議会の意見交換会のお知らせ	P13
議会あれこれ／議長交際費	P14



鹿島市のホームページも
ご覧ください。

鹿島市議会

検索



鹿島市公式アカウント
でのひら市役所



いまずく友だち追加！

定例会

定例会

鹿島市議会
令和7年12月定例会 会期日程

1、会期
自 令和7年11月28日
至 令和7年12月17日

2、日程

【11月】

28日・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・議案の一括上程（市長の提案理由説明）

29日・休会

30日・休会

【12月】

1日・休会（議案研究）

・発言内容通告締切（正午）

2日・休会（議案研究）

3日・休会（議案研究）

4日・議案審議、質疑、討論、採決

5日・議案審議、質疑、討論、採決

6日・休会

7日・休会

8日・休会（議案整理）

9日・休会（議案整理）

10日・一般質問（3名）

11日・一般質問（3名）

12日・一般質問（3名）

13日・休会

14日・休会
15日・一般質問（2名）
16日・休会（議案整理）
17日・議案の追加上程（市長の提案理由説明）
・議案審議
・質疑、討論、採決
・閉会

訃報



松尾征子議員が12月18日に81歳で逝去されました。葬儀は12月21日に執り行われました。喪主は夫の秦佑さん。

略歴

昭和46年4月 鹿島市議会議員初当選
平成14年5月 全国市議会議長会表彰（市議20年）
平成17年7月 佐賀県知事表彰（地方自治功労）
平成26年11月 鹿島市表彰（自治功労）
平成30年1月 総務大臣感謝状（市議35年）
令和4年5月 全国市議会議長会表彰（市議40年）

次のことを審議し決定しました

【令和7年12月定例会】

		釘尾勢津子	宮崎幸宏	笠継健吾	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村一堯	松田義太	勝屋弘貞	角田一美	伊東茂	福井正	松尾征子	中村和典	徳村博紀	採決結果	
議案第69号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第70号	市長及び副市長の諸給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第71号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第72号	鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第73号	鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第74号	鹿島市自然の館設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第75号	鹿島市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第76号	令和7年度鹿島市一般会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第77号	令和7年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第78号	令和7年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第79号	令和7年度鹿島市給与管理特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第80号	令和7年度鹿島市水道事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第81号	令和7年度鹿島市下水道事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第82号	第八次鹿島市総合計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第83号	鹿島市高齢者福祉施設一本柿荘の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第84号	鹿島市勤労者福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第85号	鹿島市肥前浜宿継場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第86号	鹿島市旧乗田家住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第87号	蟻尾山公園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第88号	令和7年度鹿島市一般会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第89号	鹿島市教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席

議案審議

議案第69号 議案第72号

鹿島市職員・市長・副市長・教育長・市議会議員の給与・報酬等
条例の一部を改正する条例の制定について



宮崎 幸宏 議員

鹿島市職員給与等の
増額改定について

質問 物価高騰や公共料
金の値上げにより鹿島市

民の負担が増加している
とともに鹿島市経済の回
復や市民の所得増が感じ
られない。そのような状
況において、市職員給与
等の増額改定を行うにあ
たり、市民の所得実態
(民間給与、年金所得額
等)を把握しているのか。

把握していない。今後に
おいて調査方法、内容等
を踏まえて把握を検討し
ていきたい。

答弁 市民の所得実態は

議案第87号

蟻尾山公園の指定管理者の指定について



角田 一美 議員

質問 令和3年度以降
5年間委託料は、据え
置かれ、令和5年度約
140万円、令和6年度
約360万円の赤字と2

年間500万円の累積
赤字となっているがその
要因は何か。

料はそのまま据え置いて
きたが、令和8年度予算
については、近年の人件
費、物件費の上昇等を考
慮し、必要な経費を見直
し計上をしたい。

答弁 5年度、6年度は
異常高温が続き、芝生へ
の散水等で水道料金の大
幅な増加や植栽管理再委
託経費等物件費の増加で
単年度収支では赤字と
なっている。過年度の内
部留保金で充当し、委託

議案第76号

令和7年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)について



伊東 茂 議員

質問 肥前鹿島駅仮設駐
輪場設置工事の工事請負
額が減額されている。祐
徳ビル跡地の広場が仮駐
輪場として電車通学の高

校生所有の100台以上
の自転車野外に置かれ
ている。新駅舎・ロータ
リー・駐輪場などの整備
完了は令和10年予定と
なっている。屋根が無く
雨ざらしの現状は駅前の
景観、防犯の上でも問題
である。整備の見直しを
求める。

答弁 広場は借地で仮設

なので最低限の経費で整
備する計画であった。防
犯上の問題については街
灯・防犯カメラを設置し
ている。鹿島の玄関口の
景観については検討する
必要があると考えている。

議案第87号

蟻尾山公園の指定管理者の指定について



勝屋 弘員 議員

質問 クロスカントリー
コースの利用者が、松の
根につまずき転倒して手
を骨折するなど、健康づ
くりのための散歩が逆に

健康を損ねるといった事
故が複数回発生している。
新年度に予算立てをし、
適正な管理・整備を請う。

きく成長し、通常の管理
では対応できない部分が
出てきている。予算を立
て適正な維持管理に努め
ていく。

答弁 事案を耳にした時
には、通常の維持管理の
中のできる分に関しては、
土入れ等を行って対応を
しているところ。20年が
経過し、クロスカント
リーコースの松の木も大

議案第88号

令和7年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について



樋口 作二 議員

上水道未使用者等支
援金交付事業について

質問 鹿島市の水道を利
用していない市民への補
助金と考えるが、どのよ

うな方法で交付されるの
か。

答弁 簡易水道や小規模
水道を利用されている方
へはその団体に、それ以
外の飲用井戸使用者には
各戸へ交付していく。い
ずれも申請書を送付して
提出していただいての申
し込みとするので、忘れ
ずに申請してほしい。



福井 正 議員

鹿島市中心商店街の
あり方について

質問一 肥前鹿島駅周辺
の宿泊施設整備について。

答弁 肥前鹿島駅及び近
隣に宿泊施設の必要性は
認めるが鹿島市が施設整
備することはない。
肥前鹿島駅や浜駅の近
隣にすでに宿泊施設があ
り、そちらを利用するこ
とができる。

は特に高齢者の方や運転
免許返納された方、中心
商店街に来られる方々や
観光客の利用に有効だと
思うが、現在運行予定は
ない。

質問二 鹿島駅のトイレ
は、トイレがやや狭いと
思うが、改修計画がある
のか。

答弁 今後佐賀県が駅舎
等の改修などに取り組ま
れる。トイレについても
新駅舎内につくられると
思われる。

質問三 肥前鹿島駅と近
隣商店街の活用方法は。

答弁 中心商店街と御神
松エリアは連携されるこ
とで商店街の活性化につ
ながると思う。

質問四 以前高津原地区



肥前鹿島駅周辺整備イメージの全体図

一般質問

一般質問に11人が
登壇しました

一般質問のYouTube動画配信!

12月10日、11日、12日、15日に行われた
一般質問のYouTube動画を観ることができます。

<p>【12月10日】</p>  <p>福井 正 議員 松尾 征子 議員 笠継 健吾 議員</p>	<p>【12月11日】</p>  <p>杉原 元博 議員 中村 一堯 議員 釘尾 勢津子 議員</p>
<p>【12月12日】</p>  <p>中村 日出代 議員 樋口 作二 議員 宮崎 幸宏 議員</p>	<p>【12月15日】</p>  <p>伊東 茂 議員 松田 義太 議員</p>

一般質問



松尾 征子 議員

物価高騰対策について

質問一 異常な物価高が続いている高市政権は国民の願いである消費税減税、さらに自民党が追い込まれた政治と金の問題など見向きもしない。このような中で鹿島市民の命と暮らしを守る積極的な市政を進めてほしい。

給食費の無償化、国保税の引き下げを

質問二 今市民はいかに出費を減らして生活するかと苦労している。パートで働く母子家庭のお母さんは、食べ盛りの息子3人を抱えコメも十分に買うことが出来ないとおっしゃっている。母子家庭だけではない。わずかな年金で暮らす高齢者家庭・子育て中の若い家庭も同じ状況だ。

まず、小中学生の学校給食費の無償化を実現して

質問三 交付金が増えたら、すぐに目的に沿って市民のために使うようにお願いしたい。

答弁 国もそのような方針なので、準備を進めている。

な国保引き下げが実現する。早急に取り組むこと。

答弁 前回は質問をいただいているが、これまでと少し変わっている。18歳未満の減額については国の動きを見ていきたい。

駅前開発の見直しを

質問 新駅舎の建設に向けて工事が始まっている。計画が進むにつれいくらか県が関わっているとしても、今の時期にほかにやることがあるのではないかとという市民の声は大きくなっている。今回も大幅に特急も減らされそんな中で駅舎を2つも作るなんて考えられないことである。今全面中止とまでいかなくても最低必要な分だけに計画の見直しをすることはできないのか。

答弁 一部分だけでは抜本的な改善は難しい。



笠継 健吾 議員

鹿島市上水道の良質・安定的な水の確保について

質問一 水源地から各世帯までの配水の仕組みはどうなっているか。

答弁 市内の水源井戸12か所の水を、10か所の配水池に送り、6地区に分けて各世帯に配水している。

質問二 10月の水道水の濁りの場所、原因、解決はどうしたか。

答弁 久保山配水池からの水の濁りで、原因は地質由来の微粒子が中継タンクに沈殿していた。水路等へ配水し新しい水と入替えた。

質問三 井戸の耐用年数、実使用年限、現在の使用年数はどうか。

答弁 法定耐用年数は10年、実使用年限は一般的で40年から50年程度と言われている。最も新しい井戸で19年、古い井戸で88年経過している。12井戸の平均は48年である。

質問四 全井戸の取水量の動き、将来の予測はどうか。

答弁 現在、井戸の取水量は、供給に問題ない。取水量の減少要因は、井戸自体の取水口の目詰まりである。

質問五 大木庭浄水場の整備、供用開始の予定はいつか。早める必要はないか。

答弁 現状では井戸の取水量に不足はなく、浄水場整備は急を要するとは思わない。

質問六 大木庭浄水場の整備する場合の投資額はいくらか、補助金はあるか。

答弁 フル規格で約43億円、段階整備で約13億円である。維持費は年間約二千二百万円以上となる。補助金は無い。

質問七 鹿島市の戸数、上水道の給水戸数、1立法メートルの水道料金、1戸あたりの月間平均使用量、月間使用料金はいくらか。

答弁 行政戸数10,977戸、給水戸数9,705戸、モデル世帯4人家族 1か月、20立法メートル使用で使用料1か月4,554円(税込み)である。

質問八 中木庭ダムの水源利用権は無形固定資産として減価償却中であるが権利に期限があるか、更新が必要であるか。

答弁 期限は設けられておらず、更新の必要もない。



杉原 元博 議員

地域共生社会の構築について

質問一 地域共生社会の理念に基づく鹿島市の考えを聞く。

答弁 地域共生社会の理念を重要な柱として、全ての人が安心して暮らせる地域社会を築く事を目標とし、つながり支え合う・まちづくりを一層推進する。

質問二 まち全体で家族になる地域福祉の推進について。

答弁 様々な生活課題について、自助・互助・近助・共助・公助の連携、重層的に組み合わせた地域ぐるみの福祉で解決していく取り組みが必要と考える。

質問三 地域で暮らす外国人について聞く。

答弁 現在の市内在留外国人は267人で、年々増加傾向。外国人住民が円滑に暮らせる住環境を整え、地域住民との信頼

関係構築を目指し、活力あるまちづくりを進めていく。

質問四 共生社会に向けての教育について。

答弁 児童生徒が安心して学べる環境を整え、多文化共生や個性尊重を学ぶ機会を設ける。

質問五 地域共生社会構築に向けて今後の取り組みを聞く。

答弁 命と人権を尊重し、本市の強みである地域力を活かし、誰もが笑顔で暮らせる地域共生社会を皆さまとともに実現していきたい。

空き店舗活用とサテライトオフィス誘致について

質問一 空き店舗の活用に向けた取り組みは。

答弁 空き店舗情報登録制度で、中心市街地の3店舗が登録・掲載されている。地域商業活性化支

援事業において、出店者への支援を引き続き実施し、商業の活性化を図っている。

質問二 今後のサテライトオフィス誘致計画について聞く。

答弁 今年度ワークショップを2回開催し、12月と1月には県外企業が視察に来られる予定。また、昨年開催した次世代リダーズサミットも計画している。

質問三 誘致に伴う補助金等の支援について。

答弁 事業所開設の際の改装費について最大250万円を補助。賃貸料は3年間・年間100万円を上限に半額を支援。更に新規地元雇用者について1人あたり20万円の支援、従業員の住宅家賃支援や通信経費の補助、研修やセミナー開催等に係る費用の支援等。



中村 一堯 議員

西部中学校での主権者教育出前講座について

「公園ライトアップで盛り上げる」について

質問 11月10日、西部中学校3年生を対象に、若者の主権者意識の向上を目的とした主権者教育出前講座を実施した。議員が各クラスで市議会の役割や市の予算などを説明し、その後、生徒から鹿島市の課題や提案を受けた。

今回は各クラスから一つつづ提案を取り上げ、質問を行った。3年1組からは「公園ライトアップイベントで鹿島を盛り上げる」との提案があり、旭ヶ岡公園や北公園でのライトアップ実施について、本市の現状と今後の考え方についてどう考えているか。

答弁 子どもたちが都市公園に関心をもち、具体的に

的なにぎわい創出策を提案してくれたことを高く評価している。本市では、公園や中心市街地でライトアップを実施し、市民主体の取り組みとして成果を上げていく。今後も公共空間の活用を進め、市民の提案に寄り添いながら協力していく。

「鹿島市オリジナルふるさと納税」について

質問 3年2組では「鹿島市オリジナルふるさと納税」をご提案いただいた。

例えば「ガタリンピックへの参加確約チケット」や「花火大会の超特等席」「手ぶらで来れるお花見セット」などについて鹿島市の現状と中学生の提案についてどう考えているのか。

答弁 鹿島市では、特産

品などの「モノ」の返礼品に加え、干潟体験やミカン狩り、鹿島ガタリンピック出場権、宿泊券・食事券などの体験型返礼品を導入しており、一定の利用がある。中でも市内飲食店のお食事券は、帰省者や観光客を中心に人気である。全国的にはイベント観覧席などの体験型返礼品が広がっており、本市でも花火観覧席や飲食付き企画について、関係団体と協議し返礼品化を検討する。今後は観光地での体験や一次産業体験などを通じ、市の魅力を体感できる返礼品づくりに取り組んでいく。

一般質問

一般質問



釘尾 勢津子議員

鹿島市民の幸福のために

きがスムーズになる。

【マイナンバー制度を支える「自治体システム標準化」の問題】について

質問 政府はマイナンバー制度を通じ、住民票・税・国保・福祉・介護・子育て支援など20業務の行政サービスの個人情報の一元管理を進めているが、国の権限が強化され、地方の裁量が縮小する一方で、資産把握や応能負担に基づく市民への税等の更なる負担増が進む懸念はないか。

答弁 標準化によって、自治体ごとに異なっていたデータの形式が統一されること、システムが共通ルールで連携すること、セキュリティ要件が統一されるなど、マイナンバー制度を使った情報のやり取りがより安全・正確・速くなり住民の手続

本市における不登校・いじめ等への対応について

質問 今後、過度な管理や形式的な安全管理に陥らず、「人と人との温もり」をどう再構築していくのか。いじめ・不登校・暴力行為・自殺など生徒指導上の課題が発生した場合に教職員は児童生徒、保護者に寄り添った対応が出来るのか。

答弁 本市の教育ビジョンのテーマに「かしま愛」を掲げ、かしまの「ひと」「自然」「文化」が好きという3つの思いを子供たちも大人も感じることができるよう取り組むを進めたいと考えている。課題発生時の対応としてスクールロイヤーの整備を急ぎたいと考えている。

西部中出前講座について

質問一 西部中学校主権者教育の3年4組「祐徳稲荷から始めるまちおこし大作戦について」。

答弁 「神社でのスタンプラリー」の提案は今後のイベント企画に大変参考になり検討していきたい。

質問二 3年5組「かしま農Life」アプリを作り「農家の高齢化・就業人口減少」「食料自給率低下」等の課題解決に繋がらないか。

答弁 価値ある提案に感謝し、今後も小中学校を対象とした食や農の学習や農業体験の取り組みを通じて鹿島の農業に対する考え方を聴ける機会を増やしていきたい。

樋口 作二議員

有明海学の広まりに向けて



質問 ラムサール条約湿地登録10年後、どのように環境政策を進めていくのか。

答弁 海の森事業や県下一斉美化活動などを通じて市民の関心は高まっていると思う。今後、自然共生サイトでの環境調査やワイズユースとしての酒造り・ごえんプロジェクト、野鳥観察等を通じてラムサール条約を推進していきたい。また、地域おこし協力隊を募集・採用してほかにはない有明海の魅力を掘り起こし、発信していきたい。

干潟交流館・なな海の運営について

質問一 干潟交流館はどのような思いで設立し、活動してきたのか。

答弁 設置条例にあるように、有明海特有の生態系や干潟と触れ合う場を提供し、観光の進展と地域振興を目的として設立された。干潟体験や学習イベントなど様々な活動で有明海の仕組みを学び、また特異な有明海の生き物と触れ合うことにより有明海と深くつながる関係人口の増加をめざして活動してきた。

質問二 荒干潟水鳥湿地センターと東与賀干潟ひがさすとはどのように連携しているのか。

答弁 担当者会議を年3回開催し情報交換を行うとともに、互いのイベントでの交流も行っている。質問三 干潟交流館は商工観光課の管轄になっているが、環境政策活動の部署として妥当なのか。

答弁 干潟交流館は1階が干潟体験などの活動拠点で、2階が環境学習の場となっている。活動内容に違いがあるが、周辺が自然共生サイトに登録されたので互いの部署の連携をさらに深めたい。また、交流館職員の体制も強化し、活動の進展を図りたい。

質問四 市長は、干潟交流館をどのように活用したいと考えておられるのか。

答弁 海と市民のつながりを構築できる施設として重要で、専門的な知識を持つておられる方の存在が必要だと考える。海の環境に詳しい地域おこし協力隊の採用などを通じて干潟交流館の有効活用を進めていきたい。



中村 日出代議員

火災発生時の防災無線の不具合について

防災無線の不具合の原因について

質問 今回の火災の最大の問題は防災無線の不具合であると思うが。

答弁 行政防災無線の不具合の原因は杵藤地区消防本部の行政防災無線の制御装置に不具合があったため、サイレン吹鳴のデータが鹿島市に來なかつたこと。

防災無線の管理責任について

質問 管理責任は少なからず鹿島市にもある。消火栓の不良もある。火災に遭われた方の立場になり話しを聞いてできるだけ支援対応をして頂きたい。

答弁 火災に遭われた方に寄り添い対応したい。



積載車

元課長の懲戒処分に関する公文書開示請求結果について

質問 懲戒に関する処分調査委員会報告に基づき、インターネット閲覧時間(457時間)相当の給与額の自主返納を別紙のとおり1,282,340円を被処分者に対し求めていく。地方公務員法第25条第2項、職員の給与はその全額を支払わなければならないと定められている。これが給

与全額支払いの原則である。判例は、相殺の時期、方法、金額につき、過払いの時期と精算調整の時期が合理的に接合して行われ、労働者に予告されるなり、その額が多額ではないなどの労働者の経済生活の安定を脅かさない場合には相殺が許される(最高裁判所昭和44年12月18日判決)。更に給与過払い後3か月も経過して行われた減額調整は全額払いの原則に反し違法である(最高裁判所昭和45年10月30日判決がある)。請求されているのは1月から6月までのインターネット閲覧時間で1月からは8か月、6月からは4か月経過している。返納を求める事ができない。違法である。

答弁 あくまでも自主返納で判例にあたらな

宮崎 幸宏議員

鹿島市の水災害対策



質問 雨水対策の検証(中村・乙丸排水浸水シミュレーション)の成果(結論)とそれに対する水害対策について。

答弁 排水区域外となる上流域側の嬉野市塩田町からの雨水の流入が対象区域の流量に大きく影響していることが考えられ、これにより市道昆沙門二号線前から乙丸雨水ポンプ場までの乙丸雨水幹線が排水上のボトルネックとなっていることが浸水の要因であると推測し、当該乙丸雨水幹線の水路改修を行うこととする。

質問一 鹿島市の都市計画(昭和48年制定)の課題である長期未着手の都市計画道路と都市計画制定以前に建築され現行の

鹿島市の都市計画の見直し

質問一 鹿島市の都市計画(昭和48年制定)の課題である長期未着手の都市計画道路と都市計画制定以前に建築され現行の

都市計画の法規制に適合しなくなった(既存不適格)事業所及び工場について。

答弁 長期未着手道路は、優先度や実現性等を判断しながら見直し(計画の廃止変更)を検討するとともに既存不適格建築物については個別の課題として対応していく。

質問二 広域幹線道路の整備を見据えた鹿島市のまちづくりのための都市計画の見直し(用途地域の変更)について。

答弁 総合計画や都市計画マスタープラン等との整合を図りながら、都市計画の見直しの必要性を検討したい。

鹿島市の地域防災力の確保

質問 鹿島市消防団の団員不足の対策となる消防

団組織の再編や団員数の適正化と消防団員の補完としての制度「機能別消防団員」並びに自主防災組織の確立のための施策について。

答弁 消防団における部の統廃合や定数見直し、「機能別消防団員」の導入といった重要な事項は、地域及び消防団の理解と合意が必要であるため、消防団本部や各分団と意見交換を行いたい。また、大規模災害時には、消防団の活動に加え、自主防災組織による対応が極めて重要であるため、地域の調整役となる地域防災リーダーの人材育成が不可欠であると認識しており、今後とも、自主防災組織や消防団等と連携しながら、地域防災力の向上に取り組んでいく。

一般質問

【総務建設環境委員会行政視察報告】

●日程 令和7年10月15日～17日

●総務建設環境委員会 委員長 笠継健吾 副委員長 釘尾勢津子
委員 中村日出代 中村一堯 角田一美
伊東 茂 松尾征子 徳村博紀

1.山口県美祢市役所（10月15日）

「美祢市役所の新庁舎建設について」

山口県西部の中央に位置し、4月1日現在人口20,681人である。

旧庁舎は65年経過し四階建てであった。新庁舎は平成29年3月本庁舎整備検討委員会より、新庁舎竣工、令和7年3月グランドオープンまで約8年を要している。

整備の要点は、三階建て、分かり易い窓口、来庁者の休憩交流の場の配置、多目的トイレの配置、災害対策室の配置等である。

鹿島市は新庁舎建て替えの方向性を、議会に表明したばかりである。新庁舎建設までは相当の期間を要すると思われる、視察を参考に計画を見守りたい。



2.山口県柳井市役所（10月16日）

「白壁の町並みを活かした観光・町づくりについて」

山口県南東部の瀬戸内海沿岸部である。4月1日現在人口28,978人である。

昭和59年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区があり、選定から昨年度が40周年となり意識の変化がある。2巡目の修理も必要であるが、住民の負担も生じ早期修理の検討が必要とのこと。

鹿島市は浜宿内の2地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定され約20年が経過し、若い人が集まる活動が更に必要と思われた。



3.山口県周南市役所（10月17日）

「水素利活用の取り組みについて」

山口県東南部で瀬戸内海に面している。9月1日現在人口129,797人である。

瀬戸内海臨海部に広がる石油化学、無機化学、鉄鋼、セメント等の産業が集積する工業地帯である。そのポテンシャルを活かした水素の発生を活用し、地域づくりの推進の強化を打ち出している。

鹿島市は水素の活用計画はないが、ゼロカーボン推進室による脱炭素化に取り組んでいる。水素活用による脱炭素化に注目したい。



伊東 茂議員

有明海の漁場環境と 海苔養殖の状況について

質問一 今秋、松尾市長は農水省鈴木大臣と面会し、要望書を渡されたとの報道を得ている。内容について説明を求める。

答弁 1. 環境悪化の原因究明、2. 調査の予算確保、3. 水質改善のため、調整池と有明海の水位差を利用して排水するフラップゲートの設置を要望した。

質問二 秋芽海苔の解禁が近年では最も遅い11月となった。県西部沖の海況、海苔の生育状況について担当課に問う。

答弁 佐賀県有明水産センターに状況を尋ねた。水温・比重は問題なく若干、栄養塩の低下はあるが特に問題はないとの報告。一回目の入札は生産枚数も色艶良好と連絡を受けた。

持続可能な観光地域づくりを目指す

質問一 観光振興には交通網の整備は重要と考える。有明海沿岸道路「福富―鹿島間」の早期整備が急務である。現状について説明を求める。

答弁 延長10キロの道路整備は調査・設計が進められ2・5キロ区間において用地買収が進められており着実に整備されている。

質問二 行政視察で訪れた山口県柳井町の重伝建では謎解きゲームを攻略しながら秘密の部屋や店を飛び出し図書館や蔵などを回る「分散型ミュージアム」が好評と聞いた。浜宿で滞在時間を延ばす体験型観光の検討について担当課の見解を問う。

答弁 観光客の滞在時間を延ばす体験型ゲームな

どはお土産・お食事など観光消費額を延ばす要素があり本市でも検討の必要性を感じる。

市民に喜ばれる地域公共交通の早期実現について

質問 福岡県宇美町を再度訪れ街中を循環して走る「A活用オンデマンドバス」の財政負担について研修をおこなった。鹿島市の循環バス・高津原のりあいタクシー・予約型のりあいタクシーの運行経費と比べれば数倍の経費が掛かり導入は厳しいと感じた。しかし、現状のままでは鹿島市民の移動ニーズに当たっていない。利便性向上に向けて更なる見直しを求める。

答弁 今後も国・県の支援を頂きながら山間部など交通空白地帯の解消に向け努力していく。



松田 義太議員

鹿島市が直面する 政策課題について

JR長崎本線利便性確保の取り組みについて

質問 特急かささぎの減便は利便性の低下はもとより地域イメージの低下、市民、企業等への影響が大い。今後、JR九州より減便後の代替として、普通列車の増便、江北駅での乗り継ぎなど提案されると思うが、西九州新幹線開業後3年間の長崎本線の課題等を整理し、市民、利用者の声を伝えてほしい。

答弁 市民生活への影響を最小限に抑えるために、地域住民や観光客のニーズを踏まえた取り組みが求められる。これまで実施してきた特急かささぎの運賃助成は形式を変えて継続し、乗り換え等のダイヤやイベント等の鉄道交通を使ったお出かけ

情報の広報周知、デジタル切符普及啓発、各交通事業者と連携し、公共交通全体の持続可能性を視野に入れた取り組みを進めていきたい。

有明海再生と 漁業振興策について

質問 今後の漁業振興策について、昨年からの漁協、青年部を中心にアカエイの商品化、スミノエガキの事業に取り組みされている。近年の養殖のりの不安定化（生産枚数、生産高）の中で、新たな事業に取り組みられているので市の支援策を検討してもらいたい。

答弁 商品のPR等広報、販路開拓、各事業への国、県、市の補助金などの活用など、産業支援課と連携し支援を行っていききたい。

多文化共生社会の取り組みについて

質問 近年、市内でも医療、介護、建設、農業分野で外国人の活躍を聞くようになった。

答弁 多文化共生の環境整備について、庁内各課の連携が重要である。県においても、多文化共生が推進課が設置され各施策に取り組みされている。鹿島市でも担当係を設置し、事業を推進すべきではないか。

答弁 多文化共生の課題は多岐にわたるので、各課連携した取り組みを実施したい。今年度中に外国人を対象にした防災セミナーを実施する予定である。

【地域交通まちづくり特別委員会行政視察報告】

1.地域交通まちづくり特別委員会

委員長 伊東 茂 副委員長 宮崎幸宏
委員 笠継健吾 杉原元博 松田義太 福井 正 松尾征子 徳村博紀

2.視察日程及び調査事項、内容 令和7年11月12日（水）～14日（金）3日間

視察日	調査事項【目的】	視察先【対応者】
11/12 (水)	① AI活用型オンデマンドバスのーと 【地域公共交通サービス】	福岡県粕屋郡宇美町〈研修〉 【宇美町議会、宇美町シティプロモーション課】
	内容 ・地域公共交通の課題解消のための持続可能な新しい公共交通サービス（MaaS） ・顧客の利便性と運行の効率性を両立するAI活用型オンデマンドバス	
11/13 (木)	② 田川伊田駅舎整備及び利活用 【駅周辺整備事業】	福岡県田川市〈研修〉 【田川市議会、田川市産業振興課、都市計画課】
	内容 ・駅舎ホテル、飲食テナント、観光案内所等の駅舎運営に公共施設等運営権方式（コンセッション）の導入 ・駅舎運営の民間事業者が民事再生手続き開始申立て（令和7年11月時点）	
	③ JR柳ヶ浦駅周辺地区整備事業 【駅周辺整備事業】	大分県宇佐市〈研修／施設見学〉 【宇佐市議会、宇佐市都市計画課】
	内容 ・令和6年3月完成の総事業費7.4億円のコンパクトな駅周辺整備事業（駅舎、W（公共交通・一般車）ロータリー、駅前広場、駐車場、駐輪場） ・駅周辺地区整備に併せて駅周辺の賑わい創出に向けたソフト事業実施	
11/14 (金)	④ グリーンスローモビリティ 【地域公共交通サービス】	大分県大分市〈乗車体験〉
	内容 ・多様な移動手段を提供する新しい交通サービス（MaaS） ・低速走行する車両がゆえに後続車両への影響（交通混雑）を及ぼすことが課題	

3.総括

本委員会は、鹿島市の地域公共交通における課題（非効率による利用者少、ドライバー不足等）の改善と総事業費53億円（うち鹿島市事業分10億円）の肥前鹿島駅周辺整備事業の検証のために、地域公共交通サービスの先進的取り組みや類似の駅周辺整備事業について、視察（①②③は再視察）し調査を実施した。

AI活用型オンデマンドバスは、利便性かつ効率性がある交通サービスとして有効性や持続性が見込まれ、鹿島市の地域公共交通の見直しの方策になりえる。

田川伊田駅舎は、駅施設運営が不安定な状況となっており駅舎テナント運営におけるリスク管理の必要性を感じた。

JR柳ヶ浦駅は、総事業費7.4億円の事業コストを意識したコンパクトな駅周辺整備事業であり、肥前鹿島駅周辺整備の模範となるべきものであった。

今後において、今回の視察調査内容をもとに、AI活用型オンデマンドバスの導入や肥前鹿島駅周辺整備事業に関して、精査及び追究していく。

市民と議会の意見交換会 令和7年度 議会報告会

と き 令和8年2月12日（木）18時半～（開場18時）

ところ 西部地区 ごみふれあい学習館 まちづくり情報室

東部地区 七浦公民館（漁村センター）2階 第3研修室

※東部・西部どちらの会場でも、ご自由に、ご参加いただけます！

主催 鹿島市議会（連絡先 鹿島市議会事務局 ☎63-2104）



【文教厚生産業委員会行政視察報告】

●日程 令和7年10月20日～10月22日

●視察参加者 委員長 杉原元博 副委員長 池田廣志
委員 宮崎幸宏 樋口作二 松田義太
勝屋弘貞 福井 正 中村和典

1.香川県高松市『地域共生社会構築について』

理念…制度・分野の枠、「支える側」「支えられる側」という従来の関係をを超えて、人と人、人と社会が繋がり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていける事の出来る包括的なコミュニティ、地域や社会を創るという考え方。以下の点を学習し共有する事が出来た。①地域の人々で助け合う仕組みづくり。②話し易く分かり易い身近な相談支援。③暮らしのどんな困り事にも対応できる仕組みづくり。



2.徳島県『読書活動の推進に関する条例について』

政策条例検討の流れ…①条例提案書の提出（目的、内容等を記載）、②提案者による説明、③条例化適否の検討、④立案検討の合意、⑤条例案の協議・調整、⑥文案の合意、⑦議長に結果報告書を提出、⑧議長が会長・幹事長会で条例案について報告し、同会で議案提出を決定、⑨議会運営委員会で議事手続きを協議、⑩本会議へ提出、議決。

読書活動の意義や重要性について理解及び関心を高め、家庭・学校及び地域の連携のもと、自主的に読書活動に取り組む環境を整備する必要性を感じた。



3.徳島県三好市『サテライトオフィス誘致プロジェクトの取り組み』

三好市では地元雇用を補助金の要件としている。

企業のメリット…固定費の削減（補助金の活用）、良質な雇用提供による地域貢献。

地方のメリット…地元雇用の創出、新卒学生UIターン者等の雇用の受け皿

→人口減少緩和、地域事業者との協働等での地域経済の活性化。

三好市は先駆的にサテライトオフィス誘致を行っている。人口は鹿島市より少ない21,848人。（視察時現在）地元採用が多く、皆さん生き生きと仕事をされている印象。進出企業側と三好市（誘致自治体）共にWin-Winの関係で大変素晴らしい。鹿島市に於いて今後の空き店舗を活用した誘致活動に参考になる事例が多く、街の活性化・人口減少対策等に活かしていきたい。



議会あれこれ (令和7年10月～12月)

10月

- 2日 9月定例会 一般質問
臨時議会運営委員会
議会報告会プロジェクト会議
- 3日 全員協議会
9月定例会 閉会
全員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 6日 議会だより編集会議
- 8日 長崎県・長崎県議会・長崎河川国道事務所要望
- 10日 佐賀県市議会議長会正副議長会
- 14日 議会だより編集会議
- 15日 総務建設環境委員会行政視察 (～17日)
- 17日 議会だより編集会議
- 20日 文教厚生産業委員会行政視察 (～22日)
- 24日 四市議会議員交流会
- 27日 全員協議会
一市二町議会議員交流会
- 28日 九州市議会議長会理事会
- 29日 佐賀県西部広域環境組合議会定例会10月定例会
- 31日 全員協議会

11月

- 5日 全国市議会議長会 評議員会
- 10日 主権者教育出前講座
- 11日 議会運営委員会
- 12日 地域交通まちづくり特別委員会行政視察 (～14日)
- 17日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会代表者会議
- 18日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望
国道207号改良促進期成同盟会要望
- 19日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 21日 国道498号整備促進期成会要望
- 25日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会11月定例会
総務建設環境委員協議会

- 26日 議会運営委員会
- 27日 環境未来都市特別委員協議会
- 28日 12月定例会 開会 (～12月17日)
議会報告会プロジェクト会議

12月

- 4日 12月定例会 議案審議 (～5日)
- 9日 文教厚生産業委員会
- 10日 12月定例会 一般質問 (～15日)
- 11日 議会報告会プロジェクト会議
- 12日 全員協議会
臨時議会運営委員会
- 15日 全員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 17日 全員協議会
12月定例会 閉会
全員協議会
- 19日 議会だより編集会議
- 22日 文教厚生産業委員協議会
- 26日 議会だより編集会議

行政視察受入状況(令和7年10月～12月)

- 10月28日 広島県東広島市議会 創生会 (3名)
- 11月21日 香川県善通寺市議会 議会運営委員会 (9名)

議長交際費を公表します。

金額単位: 円

	10月		11月		12月		合計	
区分	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔意	0	0	0	0	1	22,000	1	22,000
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	1	4,000	0	0	1	3,000	2	7,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	680	1	680
合計	1	4,000	0	0	3	25,680	4	29,680

編集後記

十二月議会も鹿島駅前開発など市民生活に関わる事案を協議し、最後に重点支援地方創生臨時交付金事業を可決し、来年度への明るい展望をもつて終了しました。ところが、第一回の編集会議は重苦しい空気に包まれました。前日夜、松尾征子議員が突然亡くなられたとのこと、言葉をなくしました。ふだんから生涯議員を自称しておられた松尾征子議員でしたが、議会の最終日にも質問に立たれ、議会だより原稿も書き上げ、提出されてからの突然の死去でした。振り返れば、多くの男性議員の中で臆することなく、常に弱者を支援する立場で市政をリードしてこられた敬服すべき先輩議員でした。残された私たちも、より襟を正して活動していかなければならないと強く感じました。

令和7年度 かしま議会だより編集委員会

委員長	樋口 作二
副委員長	笠継 健吾
委員	角田 一美
顧問	中村 和典

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。